「びわ環サークル」　第２回活動報告

平成 26 年 12 月 1 日

表題	ロケットストーブ作り	日時	平成 26 年 11 月 28 日(金)　10:00～15:00　天候：晴
参加者	事務局：青木豊明 35 期生：近松、川西、釜渕、冨田、竹村、徳岡、西山(写真係)、野村 36 期生：丸林、服部、畑、青木和夫(記) 37 期生：落合、川尻、藤岡、中谷		

1.　第 2 回活動の経緯

第 1 回活動（平成 26 年 10 月 3 日）の懇親会において身近なエコ活動としてロケットストーブ作りが提案され、36 期生の青木和夫がペール缶を使って作った経験があるので企画することになりました。なお、青木豊明先生の息子さんの家が空いているとのことから、会場はその庭でおこなった。

2.　日程

10:00　会場に全員揃い、事務局・青木豊明の挨拶後、36 期生青木和夫から完成品を見ながら作り方の説明をおこなった。制作班は以下のように分けた。

制作する人	手伝いする人		
35 期　川西	35 期　西山	36 期　畑	37 期　中谷
35 期　近松	35 期　冨田	37 期　藤岡	37 期　川尻
35 期　竹村	35 期　野村	35 期　徳岡	36 期　青木
36 期　服部	35 期　釜渕	36 期　丸林	37 期　落合

（煙突の材料費は 1 台 3,296 円でした。）

10:20　作業開始

11:00　青木和夫のロケットストーブを焚いてブタ汁作りを始めた。ブタ汁作りは青木豊明先生の奥様が協力した。

12:00　この時点で各班ともほぼ 6 割出来ていた。

昼食には温かいブタ汁をいただきました。***おいしかった！！　お餅もいただきました。***

12:45　昼休みもほどほどに作業が始まった。

13:50　服部班が出来上がり、火入れを行った。

その後順次出来上がり、それぞれ火入れを行って使用できることを確認した。***よかった！！***

14:30　終了して跡片付けを行った。

★　青木豊明先生から感想と次回の活動について伺いました。

みんなが休み時間もとることなく一生懸命に格闘していたことに驚き、やはりモノ作りは楽しい。今後、近江舞子の琵琶湖湖岸雄松が崎の近くで炭焼き体験を提案。

★　36 期生服部さんから“里山資本主義”の本から一節を紹介していただいた。里山には土地を含めて様々な資源があり、これを上手に利用すれば心身ともに豊かな生活ができる。

★ 35 期生の冨田さんから栗東市金勝の里山を無償で借りることができるので、整備をして活用する組織を立上げたいと協力要請があった。次回に下案提示の予定。

3. 感想

・心配していた天候も好天に恵まれ、また、青木豊明先生には 17 人もの人数が集まって作業できる会場を提供していただき感謝致します。また奥様にはブタ汁作りを協力して頂いたことに感謝いたします。
・ペール缶の入手と道具類の準備に皆様の協力が得られ、びわ環サークルの今後の活動において心強いものを感じました。
・服部班はペール缶のタイプが少し異なったので上段の缶の底に煙突穴を開ける方法で制作され、非常にきれいに仕上げられました。
・竹村啓子班は煙突穴を開けた天板のはめこみに悪戦苦闘、何とか完成にこぎつけられたことに敬服いたします。
・ロケットストーブの燃焼効率は 90%以上とのことで、実際ブタ汁作りで約 1 時間焚きましたが残った灰は驚くほど少なかった。
・ロケットストーブの作り方を体験していただきましたので、皆様の地元でも作って大いに利用していただくことを願っております。
・35、36、37 期生が揃って一緒に活動できるびわ環サークルは良いですね。ずっと続けましょう。

4. 事務局より終了時のアンケートのまとめ (15 名から回答)

以下の 3 項目でアンケートを実施

A. ロケットストーブ作りの感想
B. びわ環活動の年間の回数は
C. 今後の希望すること

まとめ

A. 皆でワイワイ愉しかった(5 名)。もの作りは楽しかった(5 名)。観察できた(2 名)。子どもの頃に還ったようだ。作成改良意見が出た。
B. 年 4 回(12 名)。年 6 回(2 名)。
C. 懇親会(5 名)。新年会+情報交歓会。見学会(2 名)。水力・風力発電製作(2 名)。何かを作る(2 名)。

（3～5ページに写真）

完成したロケットストーブを前に記念写真

作業開始前、完成品を見ながら説明
結果オーライで行きましょう

各班作業開始

服部さん、手順書を確認中です

天板作りは意外と手間がかかり難しかった

川西班、煙突が上手くつながりません。
どうすればいいのかな？

服部班、一番にパーライト投入
ドンドン入っていきます

竹村班、天板取付けに苦労しています

近松班、パーライト投入

川西班、パーライト投入

竹村班、パーライト投入までこぎつけました。
よかった！！

服部班、煙が出てきた。*完成！！*

近松班、上手く燃えだしました

川西班、ちゃんと燃えるかな？

仕事後の昼飯はうまかった！！

青木豊明先生の奥様、ブタ汁づくりありがとうございました。ナベが煤で黒くなってすみません

服部さんが「里山資本主義」の一節を紹介